

コース14 のこぎりやま 鋸山

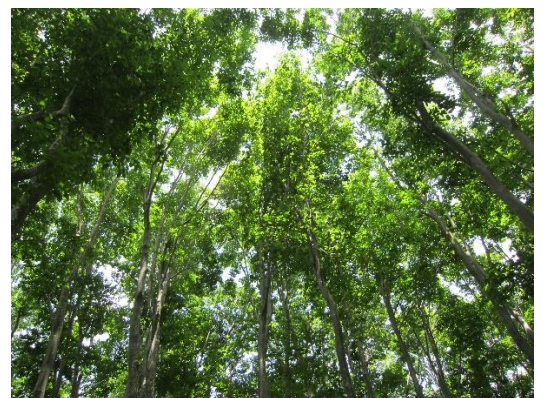
リーダー CL K.S SL N.M
 実施日 令和6年6月16日(日)
 天候 晴れのち一時雨
 グレード B
 参加者 16人(男性6人 女性10人)
 コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所・駅西口		7:05	区役所11名 駅西口5名乗車
悠久山野球場	8:30	8:45	登山準備
花立登山口	9:05	9:10	二班編成にて登山スタート
大モミジ	9:50	9:55	モミジの木陰で休憩
花立峠	10:45	10:50	長工新道との合流点、頂上まで後一息
鋸山頂上	11:30	11:45	全員登頂
花立峠	12:15	12:45	長岡市街地を望みながらの昼食
花立登山口	14:15	14:30	無事に下山
イングリッシュガーデン	15:10	15:45	園内見学
秋葉区役所	17:00		予定通りに到着、解散

山行等概要(幹事のコメント)

- 梅雨の時期に連日の☀マーク。当日も気温30度前後までの上昇予報にて、熟年組の我々にとっていささか心配の面もあったが決行とする。
- 予想通り登山口に着くと、強い日差しが照りつける、精鋭部隊16名は勇敢にも登山道に取り掛かる。
- 容赦なく照り続ける、喉が渇く汗が噴き出す、さすがに我部隊も呼吸が荒くなる、ようやく”大モミジ”に着く。風雪の影響が大きく変形した幹を眺めながら日陰で一息入れ生き返る。
- さらにジグザグ道、階段など坂道に行く、稜線を見上げると中越地震で大崩落の爪あとが生々しい!地震の恐ろしさを再認識、慎重な足取りで花立峠に着く。”長工新道”の分岐点である。
- 頂上まで後一頑張り、素晴らしいブナ林の森林浴にてここまでの辛さを忘れ、体力・気力が復活、最後は鋸歯状のアップダウン尾根を踏破して頂上に着く。
- 頂上からは気温上昇の影響か遠く靄がかかり残念ながら絶景を望むことができなかったが、東山連峰の最高峰にふさわしい景色であった。



- 日差しが強いため、昼食は頂上から花立峠で撮ることに変更して下山する。
- 下山は、下り坂のみにて足早に下るが、山道の端にはウツボグサ、エゾアジサイ、アザミなどが咲き、雑木林の中にはシモツケ、ヤマボウシなどが彩りを添え和ませてくれる。
- 終盤の「天狗清水」では、冷たい湧水で乾いた喉を潤し無事下山を達する。
- 下山後、みつけイングリッシュガーデンに向かう、丁度バラ、アジサイ、スモークツリーなど色んな花を観ることができたが、途中雨が降り出し足早に庭園を後にし、一路新津に向かう。
- 区役所には予定通り到着、解散する。
- 真夏日での登山を全員無事に終えました事、皆さんの健脚とご協力のおかげと感謝申し上げます。また、担務をお願いしました班長・会計・SLの方々ありがとうございました。



山道で2回も転んでまだ未熟な幹事でしたが、これからも宜しく！！

ついに登頂「鋸山」

1787 H.M

新潟に来たばかりの頃、長岡に住んでいました。東山連峰を眺め、長岡市営スキー場にも何回か足を運んでいました。

悠久山には花見などに幾度となく訪れており鋸山のことは、新潟県の山の本で知っていました。アクセスも良く、いつでも行けると思いまだ登ったことの無かった鋸山についに行くことができました。

前日長岡は、全国一の暑



さで当日はどうなることかと思われましたが、まずまずの気候でした。悠久山野球場駐車場にて登山準備をして、花立口から9時過ぎに出発しました。

長岡の市街地からすぐとは思えないような沢沿いの登山道を進むと、ちょっと長めの木橋です。結構ゆれるので、一人ずつゆっくりと渡ります。

次の杉林の急登ではやはり汗が出て、楽な山なんてないなと思います。所どころに咲いているウツボグサの紫色の花に癒されながら、30分ほど登ると大モミジの休み場にたどり着きました。汗を拭き喉を潤ししばしの休憩です。1本とは思えないほど枝分かれした立派な大モミジ、紅葉したところを見てみたいものです。

ヤマモミジのトンネルを進みながら、木に絡む蛇をおっかなびっくり眺めたりしているうちに中越地震で水が出なくなった旧水場に到着。傾斜が増しジグザグの登りを行きながら、大崩落した長工新道のカラカラに乾いた急崖を見て、中越地震の凄い揺れを思い出しました。

やっぱり暑いなあえぎあえぎ登り、やっと花立峠です。一休みして少し先に行くと気持ちの良いブナ林。頂上はまだかと、鋸の歯のようなアップダウンを繰り返す尾根を進みました。

お昼前に頂上に到着し、しばしの写真撮影タイム。午後から雨の予報通り、雲が多くくっきりは見えませんが、なかなかの眺めでした。頂上はあまり広くなく日陰もないので、昼食は下ってからとなりました。お腹が空いていたのか、皆さん下りは早くあつという間に花立峠です。お待ちかねの昼食休憩となり、心も身体も回復し、その後まっしぐらに下山。

ワラビを取りたいという方のため、みなで協力し、あつという間に収穫完了。登山道から草藪を一瞥し、電光石火の収穫の技に感服。私にはとっても真似ができません。雨にあたることなく、ほぼ時間通り下山できる見込みとなり。ちょっと一服。趣きのある烏滝を見物し、登山口付近の天狗清水で顔を洗い喉を潤します。ウリの木を発見。思い思いに写真撮影。



下山後バスに乗り込むと、雨がぼつぽつ。トイレ休憩に見附イングリッシュガーデンに向かいます。見頃はすぎたとはいえバラのアーチなどくぐったり、咲き始めのアナベルを眺めたり心ななむひと時を過ごしました。ソフトクリームを購入後、私たちの活動終了を見届けるように本格的に雨が降り出し、あまりのタイミングにびっくり。

リーダー、サブリーダー参加者の皆様のおかげで楽しい山行となりました。感謝申し上げます。欲を言えば、沢山のイワウチワの葉を見たので花の盛りを見たいなと思いました。

